



一人一人が安心して自分のよさを発揮できる学校

武蔵野小だより



落ち着いた気持ちで学期はじめを

学校に元気な声が戻ってきました。笑顔で登校する子どもたちからは、またひと回り成長した様子がかがわれます。

しかしながら、新型コロナの影響により今学期の出だしは分散登校となりました。感染防止対策は最大限に行い、従来とは形を変えながらも教育活動を堅実に、着実に前進させたいと考えています。出だしは落ち着きをもち、そこから徐々に調子を上げ、12月には子どもたち一人一人が「有意義だった」と振り返ることができる学期を目指します。引き続き、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

G I G A スクール構想 子どもたちの学びに変化は？

- ◆「リモート体育集会」で体育委員が基本的な集団行動を説明・実技
- ◆教育委員会からの「コンピュータスキル調査」を自分の端末で回答

7月のある日、上の2つの取組に加え、右のような授業が進められていました。いずれも去年までは見られなかった光景です。

今春、子ども1人に1台の端末が貸与され、教室には大型提示装置も導入されました。ICT機器の充実は、本校でも切望していたもので「とにかくまず使ってみる」からスタートしました。

1・2年生のあさがおや野菜の観察は屋外でのものですが、今年は少し違います。外で観察しながら自分の端末で写真を撮り、教室に戻ると好きな写真を選び、改めてよく見て観察を続けます。指で写真を拡大し形や色を確認する子ども…。失敗を恐れない子どもたちは、どんどん上達していきます。

この所、授業によく集中できる子どもが多くなっています。ICTの有効活用で子どもたちの主体性がさらに向上し、また、考えの可視化や意見交流により、「子どもたちがつくり上げる授業」が具現化されることを願います。

「教育の不易の部分」は従来どおり大切にしていきたいと思います。あわせて、G I G A スクール構想を機に、これからの時代に応じた学びを追求し、創造性の基礎を培う教育を推進します。

なお、オンライン授業を見通し、分散登校期間に端末の持ち帰りと「朝の会」で実際に家庭と学校をつなぐ練習を試みます。(別紙参照ください。)



◆「日本の音楽」の発展学習 オンラインで大塚新田の「お囃子」を調べ、その後新聞作り



◆図工の鑑賞活動 付箋に友達の作品のよい所を 教師はコメントを集約し、全体で紹介



◆新旧合わせたそろばん学習 デジタル教科書で珠の動かし方を確認 大型そろばんを実際に動かすことで計算の仕方を実感

ほめて認めて、叱って諭し、また、ほめて伸ばす